

京都中小企業団体中央会主催による 「中小企業のための情報セキュリティ向上セミナー」が開催されました

京都中小企業団体中央会では、不測のIT事故・事件の事態から中小企業を守るため、事例を交えながら身近な危険の認識とリスクの甚大さを知っていただくとともに、社内の情報管理の方法や不正なアクセス等の防止策をテーマに中小企業のための情報セキュリティ向上セミナー」が開催され、Ksisnetから講師を派遣しました。

日 時：3月2日午後2時～午後3時30分
場 所：ホテルモンテ京都（京都市中京区烏丸通三条下る）
内 容：①「これならできる、中小企業の情報セキュリティ対策!!」
講師 京都コンピューターシステム事業協同組合 理事長
（一社）京都府情報産業協会 理事 桑原 人司 氏
②「京都府における中小企業の情報セキュリティ向上に向けた取組」
講師 京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク（Ksisnet）事務局
京都府警察本部警務部警務課 治安総合対策室 室長補佐 佐藤 友章 氏
参加者：府内31企業

「これならできる、中小企業の情報セキュリティ対策!!」桑原 人司 氏

桑原氏からは、IPAが公開した「2016年 情報セキュリティ10大脅威」を踏まえ、中小企業におけるセキュリティ対策では、自組織にあったソフト・ハード両面における対策を実施することが重要と説明された。

また、京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワークの一員として、府内事業所を対象に実施する「標的型メール攻撃訓練サービス」を始め各支援サービスについて紹介された。



「京都府における中小企業の情報セキュリティ向上に向けた取組」佐藤 友章 氏

佐藤氏からは、最近のニュース等で報道される中小企業の情報漏えい事案や、府警に寄せられる相談等を踏まえ、サイバー攻撃等のターゲットが大手企業から中小企業へ移行している現状について説明し、中小企業における情報セキュリティ対策の重要性、必要性を訴えた。

また、Ksisnet事務局として、設立経緯や取組状況を紹介し、KsisnetIT相談窓口の利用や、セミナーや支援サービスへの参加を呼び掛けた。

